

## 校長からのメッセージ

生徒・保護者の皆さんへ

令和2年度第58回島根県高等学校総合体育大会の中止決定にあたって

4月20日から始まった臨時休校から10日がたちました。生徒の皆さん、どのように過ごしていますか。体調管理を心がけ、勉強や適度の運動などに取り組んでいますか。5月7日から学校が再開となるかどうかは、この5連休中の国の動向を見て県でも決定が成され、5月6日までには、さくら連絡網を通じて何らかの連絡ができることと思います。

さて、本日午後、島根県高等学校体育連盟から、別添の通り、令和2年度第58回島根県高等学校総合体育大会の中止が発表されました。昨年度末から多くの大会が中止となる中、3年生にとっては高校生活の一つの集大成となる大会の中止の決定です。先日インターハイの中止が決定され、もしかしたらと思っていましたが、残念です。

運動部の皆さんは、この大会を目標に、またこの大会をステップとして全国にとそれぞれがそれぞれの目標を持って、これまできびしい練習に励んできたものと思います。私も、教諭時代はバレー部や野球部の顧問として生徒と一緒に県総体や夏の大会を目指して活動してきたので、選手の皆さんが最後の大会にかける気持ちも少しは理解できるつもりです。なので、この中止の知らせを受け、皆さんの無念は想像に難くありません。またそんな皆さんにかける言葉を自分は持ちません。インターハイの中止が決定された際に、陸上の桐生選手がコメントしていた言葉「頑張ろう、と俺は安易に言えない。」の通りです。しかし、そのコメントの最後に「お互い前向きに行きましょう。」と言っていました、本当にその通りだと思います。

そんな中で、皆さんにお願いをしたいと思います。臨時休業が始まったときにホームページに載せた文章と同じような内容になりますが。

まずは、緊急事態宣言の延長を受けて、「自分を守る、家族、地域、社会を守るため」今何をなすべきか、なさざるべきかを考え、自らの行動を律することをお願いします。感染拡大の防止に向けて3密を避けるなどの取り組みをお願いします。

次に、今後の学校生活再開は、部活動は、入試は、等不安はつきないと思います。しかし、それを考えても今はまだ誰にも先が見えない状態です。ならば、今は自分にできることをする以外にないのではないのでしょうか。桐生選手が言うように「お互いに前を向きましょう」としか言えないのではないのでしょうか。

混沌とした今こそ、投げやりになることなく、安来高校の教育目標にある「きびしく・高く・美しく」の生き方をぜひとも体現して欲しいと思います。

もう一度、坂村真民という人の詩を紹介しておきます。(坂村真民一日一言 致知出版社)

鈍刀をいくら磨いても 無駄なことだというが、  
何もそんなことばに 耳を借す必要はない。  
せっせと磨くのだ。  
刀は光らないかもしれないが、 磨く本人が変わってくる。  
つまり刀が すまぬすまぬと言いながら、  
磨く本人を 光るものにしてくれるのだ。

いつか、この経験が皆さんを輝かしてくれる日が来ることを信じて

令和2年5月1日  
校長 柳樂 眞悟

P S .

臨時休業になった数日後、校内を歩いていると、第2校地の野球場でグラウンド整備をするコーチの方の姿が。また別の日、テニスコートでコート整備する先生方の姿が。校内ではモザイク教室のタイル貼り替え作業をする事務室の方が。これはあくまでも一例。ほかにも、見えないところで多くの人が、いつでも再スタートできる環境を整えています。

先は見えませんが、見えないところで、誰かが、いつか来る再開の日に向けた準備をしていることに思いを馳せて・・・。

各自で再スタートに向けて心と体の準備を。